

製品名: NFKB2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82237**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000
分子量	96.7kDa

抗原情報

遺伝子名	NFKB2
別名	p52; p100; H2TF1; LYT10; CVID10; LYT-10; NF-kB2; p49/p100
遺伝子 ID	4791.0
SwissProt ID	Q00653
免疫原	大腸菌で発現したヒト NFKB2 (AA: 712-900) の精製された組み換え断片。

背景

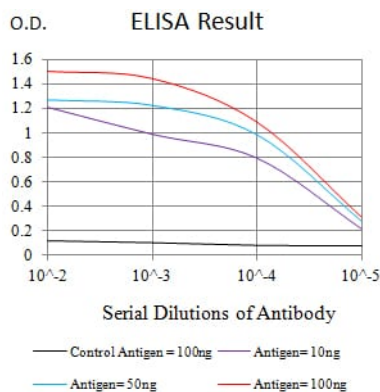
この遺伝子は、転写因子複合体である核因子 κB (NFκB) のサブユニットをコードしています。NFκB 複合体は多くの細胞種で発現しており、炎症および免疫機能に関与する遺伝子の中心的な活性化因子として機能します。この遺伝子によってコードされるタンパク

質は、二量体形成パートナーに応じて、転写活性化因子としても転写抑制因子としても機能します。p100 全長タンパク質は、翻訳時に p52 活性型に変換されます。この遺伝子座の染色体再編成および転座は B 細胞リンパ腫で観察されており、その一部は融合タンパク質の形成につながる可能性があります。この遺伝子には 18 番染色体上に偽遺伝子が存在します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 12 月]

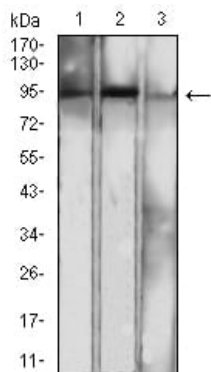
研究分野

MAPK シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



NIH/3T3 (1)、MCF-7 (2)、および THP-1 (3) 細胞溶解物に対する NFKB2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。